

15の事例から学ぶ

介護事故の再発防止策検討（デイサービス編）

- 転倒・誤えんから行方不明まで徹底解説 -

ヒヤリハットなどを使って事故を予測して、未然に防止対策を講じる活動はもちろん重要です。しかし、介護現場ではビックリするような思いもよらぬ事故も起きます。想定不可能な事故に備えることは難しいのですが、できる限り多くの事故を想定して防止策を講じることが必要です。他の施設で起きた事故は自分の施設でも起きる可能性はあるのです。頭の中にたくさんの引き出しを作って、様々な事故防止事例を覚えておくことが、事故防止対策のコツです。本セミナーでは、最近介護現場で発生した15件の事故事例をご紹介します、原因分析と再発防止策を詳しく解説します。

セミナーの概要

次の15件の事故事例について原因と再発防止策を解説します。

1. 転倒：静養室で車椅子からベッドへの移乗介助中に膝折れし転倒、ベッド柵に顔を強打
2. 転倒：ソファで居眠りをしていた利用者が立ち上がり転倒、見守りが足りない？
3. 転倒：外出レク中に平らな道路で転倒して顔を8針縫うケガ、職員の不注意と謝罪
4. 誤えん：うなだれている利用者の誤えんに気付かず、救命対応後救急搬送先で死亡
5. 誤薬：利用者の名前を間違えて食席に誘導して誤薬事故、正確に本人確認ができるか
6. 誤えん：私用の携帯電話に出るために浴室を離れ利用者が溺死、刑事責任を問われる職員
7. トイレ転落：便座から転落して頭部打撲で硬膜下出血、「排泄中見守りはできない」
8. レクリエーション：レクでズレたクッションを直そうとして車椅子ごと転倒
9. 暴力：認知症の利用者が他の利用者につかみかかり転倒骨折、誰が補償すべきか？
10. 行方不明：認知症利用者が行方不明！どのように捜索したら無事に保護できるか？
11. 行方不明：花見の行事で認知症利用者が行方不明、翌々日に隣町で保護されたが・・・
12. 送迎事故：お送り送迎時に居宅の玄関で「ここでいい」という奥様に介助を任せ転倒
13. 送迎事故：門から玄関まで車椅子が使えず、車椅子全介助者を無理に歩かせて転倒
14. 送迎事故：利用者を送迎車から降ろし忘れ熱中症で死亡、「今日は利用日ではない」
15. 送迎事故：保育園の裏口で飛び出してきた園児と接触、1年前にヒヤリハットがあった

※参加者は事例に目を通してからご参加下さい→[事例一覧]<http://tiny.cc/bv4mxz>

無料オンラインセミナー開催要領

- 開催日時：2024年5月29日 13:30～15:00
- 主催：株式会社安全な介護
- 講師：株式会社安全な介護 代表 山田滋
- 参加費：無料
- 参加方法：Zoomによるオンライン（接続PCは3台まで）
- 申込方法：下記URLからお申し込み下さい（5月22日締切）

<http://tiny.cc/672zww>

お申込みいただいた方には、締め切り後に視聴用URLとテキストをメールで送付いたします。

講師プロフィール

山田 滋 早稲田大学法学部卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 セミナー事務局

mail:soudan@nanasha.co.jp